

国際的な動き

ESG投資の拡大

大規模災害等の異常気象による
地球環境への関心の高まり

 SDGs
ゴール12「つくる責任、つかう責任」

持続可能な
環境と経済の好循環の構築が必要

「サステナビリティとは何か。
他の企業や事業者の取組に
ついて知りたい。」

「生産、流通・小売、消費
までサプライチェーン全体
での取組が必要。」

「日々の生活を見直す今こそ
コレクティブインパクトを
発揮すべき。」

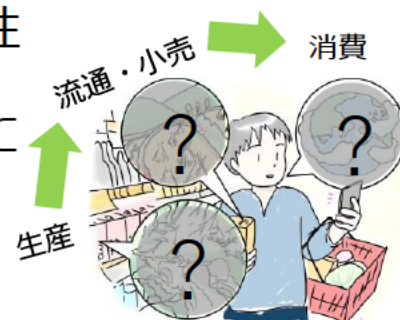
持続可能な消費の実現に向けて

(持続可能な生産消費形態のあり方検討会等)

食品・農林水産物の生産消費

価格や品質以外の要素が
価値向上につながる可能性

サプライチェーンの延長に
より農場から食卓までの
様々な取組が見えにくい



新型コロナ危機をきっかけに
消費者の気づき

「自分達の生活は誰かの活動で支えられている」

～食と農林水産業のサステナビリティを考える～
あふの環 2030 プロジェクト 設立

(事務局) 農林水産省、(協力) 消費者庁・環境省

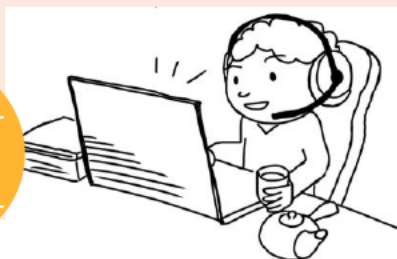
*あふとは 古語では、
会ふ (出会う)
和ふ (混ぜ合わせる)
餐ふ (食事のもてなしをする)
といった意味があります。

あふの環プロジェクト

勉強会・交流会 Knowledge Sharing

- ・ サステナブルな活動を行う生産者・事業者の情報収集・連携の機会を提供。

メンバー
向け
セミナー



サステナウィーク Sustainability Week

- ・ 毎年9月下旬、国連総会の時期に合わせて実施予定。
- ・ 日本各地で同時期にサステナビリティをPRすることでコレクティブインパクトを発揮。



サステナアワード Sustainability Award

- ・ サステナブルなサービスや商品を扱う地域・生産者・事業者を表彰。
- ・ 今年はコロナ禍で生まれた消費者と生産現場をつなぐ取組等にも着目。

上記の取組やプロジェクトメンバーの個々の取組について日本語・英語で国内外へ発信。

食と環境を考える1億人会議

生産・流通・消費者の共創の場を作ることによって一人一人が食と農林水産業の未来を考える。

サステナビリティ・アクションへの 新規提案、分科会

※来年度はプロジェクトメンバーによるサステナビリティの考え方の検討、サステナブル商談会、生産者と消費者をつなげる取組促進を予定。

「日々の食や消費の選択＝未来の選択」

生産・流通・小売サイドと消費サイド双方の理解が行動変容につながる

Q. 登録申請方法を教えてください。

A. あふの環HPにある「登録申請書」及び「サステナ宣言フォーマット」に必要事項を記載の上、事務局までメールにてお送りください。お申込み頂きますと、事務局より登録申請受付メールが届きますので、まずはそちらをご覧ください。登録手続きには2週間程度のお時間を頂戴する場合がありますのでご了承ください。登録手続きが完了しましたら、その旨をメールにてご連絡いたします。なお、第1期申込締切は7月末とします。

Q. 登録要件はありますか。

A. 「本プロジェクトの目的に賛同する企業・農林水産事業体・教育機関・国際機関・地方公共団体・NGO/NPO・民間団体(個人は含まない)等であって、食や農林水産分野における持続可能な消費につながる活動についてサステナ宣言を行うこと」としています。なお、代表者は“社長名、役員名又は事業部などの部署長名”でのご登録をお願いいたします。その他要件についてはあふの環HPをご確認ください。

Q. プロジェクトメンバーはどんなことができますか。

A. 随時開催の勉強会や交流会、サステナウィーク(9月17日-27日予定)、食と環境を考える共創型イベント(10月-12月予定)、サステナ・アワード(来年1-3月予定)などにご参加いただけます。この他、プロジェクトメンバーの皆様からの企画や提案を歓迎します。同じ方向を目指す仲間を見つけ、日本における「サステナビリティ」の可能性や解決策を考える機会をつくっていきたいと考えています。

Q. 勉強会は誰でも参加できますか。

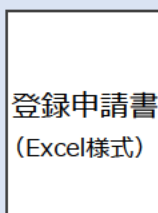
A. 原則としてプロジェクトメンバーのみ参加可能です。登録していただいた企業・団体等の方であれば、役職は問いません。

Q. 年会費はありますか。

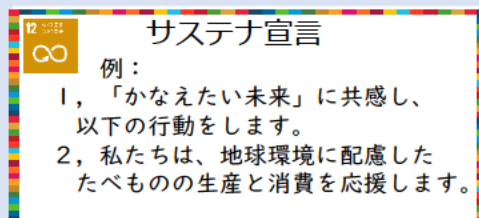
A. 年会費はありません。

※登録申請方法

二点を事務局まで
ご提出ください。



+



問合せ : 農林水産省大臣官房政策課環境政策室
あふの環プロジェクト事務局
E-mail : SCAFFF@maff.go.jp
TEL : 03-6744-2017

あふの環HP



- ・ 2, において、貴社の具体的な取組内容をご記入し、宣言をお願いします。
- ・ SDGs12「つくる責任 つかう責任」以外に、2, で宣言する取組に関係が強いゴールを添付してください。

①SDGs12と、12以外に宣言する取組に関係が深いゴールを貼り付けてください。
(12以外のゴールは最終ページから選択してください。)

12 つくる責任
つかう責任

サステナブルな
1、「かなえたい未来」に共感し、
以下の行動をします。

②具体的な取組内容を記載してください(文字数制限や文末の制限はありません)。

2、私たちは、〇〇〇します。

株式会社〇〇

連絡先：部署名・担当者等
TEL：〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail：xxxxxxxxxx@xxxx.xx.jp

③宣言した取組のご担当部署名及び公開可能な連絡先等を記載ください。
代表者名は“社長名、役員名又は事業部等の部署長名”でご登録ください。

④宣言内容と関連する写真やイラスト等あれば挿入してください。

【考】

記載例

12 国連持続可能な開発目標



15 陸域生態系保護



1, 「かなえたい未来」に共感し、以下の行動をします。

2, 私たちは、農林水産業・食品産業の成長が環境も経済も向上させる、環境創造型産業への進化を目指します。

農林水産省環境政策室

連絡先：大臣官房政策課環境政策室 あふみの環2030プロジェクト事務局
TEL：03-6746-2017 E-mail: SGAFFF@affr.go.jp